



団体名 K9 CLUB 今治 (ケーナイン クラブ イマバリ)

プロジェクト第3弾 オリジナルVTR制作 団体決定！

今治市民活動センターでは、団体の活動目的・内容・魅力などを紹介する広報ツールの制作を手がけています。今年度は、ご応募いただいた「K9 CLUB」の広報VTRを制作いたします。どんな団体か一足先にお伝えします！

Q. K9 CLUBって？

飼い主に犬と人間の正しい関わり方と責任を理解し、正しいマナーを身に付けていただくこと

で、地域住民の迷惑や不安を根絶し、安全でクリーン、なおかつ清潔な21世紀社会を作り上げていくことを目標としている団体です。



Q. 具体的な活動は？

毎週日曜日、波止浜にあるK9 CLUBトレーニング・グラウンドで「家庭犬しつけ教室」を開催しています。モットーは、「犬と飼い主が楽しみながら行う訓練」です。

教室では、愛犬を飼い主自身が訓練する方法を指導、犬の習性に基づいたカリキュラムで訓練を行っています。オーストラリアから専門講師を招いたり、2カ月に1回のペースで、飼い主+愛犬の運動会を開催したりしています。

K9 CLUBの活動に参加することによって、愛犬の問題行動の矯正はもちろん、飼い主と愛犬が訓練なしでは得られなかった永遠の信頼と深い愛情で結ばれることとなります。

Q. メッセージを…

どんな問題行動のある犬でも、飼い主のマナー向上と訓練によって必ず良くなります。犬種は問いません。そのため、K9 CLUBは「飼い主を訓練する団体」と言えます。

K9 CLUB フォトギャラリー

飼い主と愛犬の絆が深まる訓練の数々



訓練時間 毎週・日曜日開催

(しろ組)(ピンク組) 8:00 ~ 8:50
(黄組)(青組) 9:00 ~ 9:50
(パピークラス) 9:00 ~ 9:50
(赤組) 10:00 ~ 10:50

訓練の時間は季節やクラス編成により変わります。

8月はお休みです。

※詳しくはK9 CLUB今治のホームページで！

www.k9club.jp

今治市民活動センターだより

●今月の特集●今治市市民が共におこすまちづくり事業補助金
交付団体決定

夢サラダ Vol.47

2010.8.1 発行

市民活動の拠点を目指しています。

「今治市民活動センター」

指定管理者：(特非)今治NPOサポートセンター

【お問合せ】TEL/FAX 0898-25-8234

E-mail imanpo@nifty.com



第2回 社会参加と自立を考える 地域を耕す“しかけ”と“しくみ”

ご来場ありがとうございました！！



6月20日(日)、さいさいきて屋 saisai cafe で開催。
美しい風景、息づく歴史、豊かな食材、住まう人々…私たちのまち・今治市には誇れる資源がたくさんあります。こうした地域資源をいかした活動の担い手達は、地域活性化の“しかけ”人です。
今回、3団体の“しかけ”人達が活動のエピソードをライブトーク！活動を深め、まちを元気にするための“しくみ”について意見交換しました。

西部知香さん

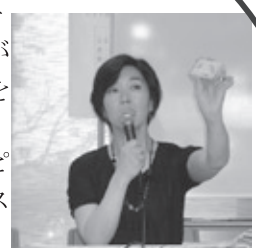
●しまなみグリーンツーリズム推進協議会●



採れたて食材を提供する農家レストラン&自宅を開放した農家民宿等を手がける西部さん。「おいしい」という言葉を自信に、「また来るね」という笑顔をやりがいいに…。農漁業者が消費者とダイレクトにつながる意味を語りました。

安部有里子さん

●チームぎょよく●



目の前で鯛をさばく、釣りゲームで魚に親しむなど、魚離れが進む子ども達に体験型の活動を提供しています。離乳食に魚のダシを使うレシピ公開など、きめ細かなサービスは、魚嫌いだったというご自身の経験から編み出されました。



※グリーンツーリズムとは…

農村地域で交流を楽しむ滞在型余暇活動のこと。しまなみでは海道沿線の島々で62の体験メニューを提供。



小さな路地にかおる暮らしの息遣い、ポケットビーチでゆったりのにんびり島時間。ポタリング(自転車散歩)ガイドの宇都宮さんが案内するツアーは新しい旅のスタイル。リピーターが増えている現状に手ごたえを感じながら、しまなみファンづくりに取り組んでいます。

司会進行

愛媛大学南予水産研究センター・農学部教授 若林良和さん
「ぎょよく教育」の普及を図りながら、地域協働のあり方を検討している。

※ぎょよく教育とは…

愛媛大学との連携により愛媛県愛南町で実践されている水産版食育。魚だけでなく、魚を丸ごと理解するプログラム。今治市では、(有)エスプレッソの安部さんが推進。

※シクロツーリズムとは…

自転車旅行のこと。欧州では一般的な旅のスタイル。五感で地域を愉しむ自転車旅行が、しまなみの魅力満喫にぴったりと普及中。

3者に共通するポイント

- 自ら活動を楽しむ姿勢！
- 思いついたらやってみる機動力！
- 対象を意識した参加しやすいプログラムやオリジナルツールの開発など、随所に創意工夫！
- 団体の持つ確かで専門的な技術がミソ！
- ホスピタリティあふれる親身な対応に“ファン”増加！

地域活性化の“しくみ”とは！

西部さんが作った
サイクリスト御用達弁当・二輪弁

安部さんが作った
鯛ドーナツ

シクロ主催のツアーで
自転車旅行者に提供！大好評！！

■多様な主体が資源を持ち寄る！■

市民・NPO・企業・行政・学校等、異なる主体が協働することで、質の高い効果が生まれる！！

平成22年度 「市民が共におこすまちづくり事業」 団体決定！

去る6月4日(金)午前9:30から今治市役所で行われたプレゼンテーション(公開審査)では、1団体4分間という限られた時間の中で、それぞれが工夫を凝らして提案事業をアピール、8つの事業が採択されました。プレゼンテーションの様態と各団体の事業内容をご紹介します。

ふれあい交流会

ふれあいの会 (代表 河上幸子)



市内の介護施設等で民舞・社交ダンス・歌(ナツメロ)等を披露する。年齢や障害により社会との交流の少ない、高齢者や障害者の方に、歌や踊りを提供することにより、介護予防や頭と体のリハビリを行い、元気で楽しく生活してもらうことを目的とする。

● 会員の方の年齢は、77～86歳！
元気のパワーをいただけそうです。

しまなみ海道周辺を守り育てる事業

しまなみ海道周辺を守り育てる会 (会表 村越定信)



地域住民(大人も子どもも)と企業が協力し、しまなみ海道周辺地域を中心に清掃活動・植樹などを行い、しまなみ海道周辺の景観を守る。また、子どもたちに地域の歴史・文化を学ぶ機会をつくり、郷土を愛する気持ちを育て、清掃活動をととして、ボランティアの心を育む。

● 清掃活動に参加して、私たちの住む町をキレイにし、心もキレイになりましょう！

吉井勇没後 50 年記念シンポジウム 「吉井勇の伯方島」

ふるさと倶楽部 (会長 馬越 晴通)



平成22年11月19日、歌人・吉井勇が鬼籍に入って50年になる。勇が歌に託した伯方島時代を、地元に残されていた書簡 42 通から振り返るとともに、歌枕の地になった伯方島を再認識し、地域住民に郷土への思いと誇りを促すものとする。

● 平成22年8月28日・伯方公民館で開催！
吉井勇に触れてみよう。

しまなみ海道沿線地域資源有効活用プロジェクト ジュニア・マウンテンバイクフェスティバル in しまなみの開催

マウンテン近見実行委員会 (委員長 村上正親)



「しまなみ海道」をフィールドに、従来のマウンテンバイク活動やサマーキャンプをブラッシュアップし、県外から親交のある関係団体を誘客し、地元の子とも達と交流を深める。同時に郷土今治の歴史や文化に触れ、サイクリングやキャンプを通じて児童健全育成を推進する。

● 海の無い栃木県の子ともたちが、自転車で海を渡れることを楽しみにしているそうです！

マミーズ愛(ラブ)バンド バステ はじめのいっぱー ママたちの♡ふれあいコンサート

マミーズ愛バンド バステ (代表 鈴木美香)



県内初のママさんプラスバンドとして発足。一般的な演奏会とは「未就学児お断り」が多く、親子が安心して来場できる堅苦しくない演奏会を開き幼少期から生の音楽に親しんでもらう場を提供する。また、地域の音楽教育、情操教育の普及と発展へ繋げる。

● 平成23年3月13日・今治市中央公民館で開催！
親子そろって音楽を楽しみましょう。

第12回しまなみ海道ソフトボール大会

今治しまなみシニア連盟 (会長 小沢雅也)



中四国各地より120のシニアチームを招き、ソフトボール大会を実施する。出場資格は59歳からで、健康で楽しい、生き甲斐のある老後への貢献を目指す。また地場産品や特産品を使った交流会やおもてなしを行い今治市のPRも行い、今治市の活性化に努める。

● 今回で12回目！今年度より73歳以上のスーパー古希チームの部もあり。益々盛り上がっています。

「島の記憶」をわかちあうプレイバックシアター 「島時間」に身をゆだねるエンカウンターグループ

よろず体験事務所 をかしや (代表 菊間彰)



かつての来島村上水軍の本拠地であった来島。その来島を舞台とし、講師を招き「プレイバックシアター」という即興演劇と「エンカウンターグループ」という出会いの場をつくり、来島ファンを増やし、島民が誇りを取り戻し元気になることを目的とする。

● 平成23年3月に開催！
来島の魅力を再認識してみましよう。

今治の女性の社会参加の意識を高める事業

今治ママ☆コレ (代表 菊川あずさ)



社会(職場)から疎遠になっている女性達に、女性企業家や専門家を招いたセミナー等を行う。同様の目標を持つ仲間と交流する機会となり、女性の意識向上を目指す。そして、社会参加する目的意識の高い女性達を育てていくことにより、今治市の発展にも繋がる。

● 一歩を踏み出したい女性にチャンス到来！
ノウハウを学んで、一歩踏み出してみましよう。

「市民が共におこすまちづくり事業」とは…

市民自らが企画・実施する継続性のあるさまざまなまちづくり事業に今治市が1団体1事業につき最大50万円を助成する事業です。

他団体との協働によりそれぞれの特性を活かしてより効果的に事業を行うスタイルも対象となります(最高100万円)。

書類審査と公開プレゼンテーション審査を経て、事業の採択が決定されます。審査基準は、**公益性・自発性・団体の評価・費用対効果・事業の効果**の5つの項目から採点されます。



↑ プレゼンテーションの様態

公開プレゼンテーションを見学して…

《プレゼンテーション力！》

限られた時間で目的や内容を的確に伝えることは至難の業。皆さん、「身振り手振りも含めた抑揚のあるプレゼン」「画像などを用いた視覚に訴えるプレゼン」など、いろいろと工夫されていました。要点を端的に伝えるためには、準備の時間を十分にとり、事例や数値を交えて、分かりやすく伝えるチカラが求められていると感じました。

《協働の必要性！》

他団体との協働によりそれぞれの特性を生かしてより効果的に事業を行う「協働推進事業」も募集されましたが、今回応募がありませんでした。1団体の活動では限界がある活動も、他団体の力を借りることで、相乗効果を生み大きな活動の実現や持続性・拡がりも期待できます。今治市の更なる発展のためにも協働の輪がもっと広がるよう市民活動センターとしても一層支援してまいります。

